

令和2年度事業報告について

(公社)雲南市シルバー人材センター

1 事業活動の概要

2020年度の我が国の経済について、「新型コロナウイルス感染症」の影響により、依然として厳しい状況にあります。「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」、第1次・2次の国の補正予算の効果も相まって持ち直しの動きも見られ経済の水準はコロナ前の水準にとどまり、「経済の回復は道半ばである。」としています。

最新の四半期別のGDP速報では2020年7～9月期の我が国のGDPの水準は感染症流行以前の水準を下回る水準となっています。

4～5月にかけて発出された緊急事態宣言の解除後は、年末には継続して経済の持ち直しがみられたものの、対面サービスをはじめとして個人消費を中心に感染症の影響が継続しているようです。

シルバーの派遣事業はポストコロナ時代において、短期と長期に視点を置き現在足元では、求人倍率が減っておりコロナによる影響をどう乗り越えるか。また長期的にみると、少子高齢化によって人手は不足し、求人倍率は再び上がっていくことが予想されます。

新型コロナウイルスの影響は幅広い業界に大きな打撃を与えてる一方で、あまり影響を受けていない業界もあるようで、巣ごもり需要に対応した業種や、介護・医療などの人口構造に依存する業界は、新型ウイルスが追い風になっているように思われ、また影響を受けにくい業種では、人手が不足しているようです。

国が言っている『一億総活躍社会の実現』に向けた最大のチャレンジは働き方改革であり、多様で柔軟な働き方が可能となるよう、社会の発想や制度を大きく転換するために、下記の内容に取り組まれています。

- ① 同一労働同一賃金の実現など非正規雇用の待遇改善
- ② 長時間労働の是正
- ③ 高齢者の就労促進

我々シルバー業務については上記の③を基本に種々の業務に取り組んでいます。

日本には、豊かな経験と知恵を持っているアクティブシニアが多く、高齢者の7割近くが65歳を超えても働きたいと願っているのに、実際に働いている方は2割にとどまっています。このため、65歳以降の継続雇用延長や定年延長等を利用されない方の企業への派遣等、受け入れ支援や、高齢者の就労マッチング支援の強化などに努めてきています。

当センターの事業実績は、下記に記述しますとおり一時的に会員数及び契約金額ともに平成24年度から大きく減少し、平成27年度には下げ止まりとなり、平成30、令和元年度は会員及び役職員の努力はもとより、地域の皆様、行政をはじめとする関係機関のご支援により大きく伸び、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、少し足踏み状態となっています。

また安全就業については、安全第一の就業を目指していましたが、残念ながら5件の事故が続き『緊急事態宣言』を発し注意喚起を促し、安全・業務委員会、地区担当者会を並行して開催し、無事故就業対策について協議を行い、安全講習会の開催、委員会による現場パトロールの強化・実施、特に伐採・剪定作業の講習会を数回行い、『ライセンスの取得』による安全就業の徹底を図っています。

また、通常は除草・草刈り・剪定作業において、会員自ら『就業前の安全点検表による点検・点呼・確認、』の安全自主点検を行い安全意識をもって就業し、傷害事故を無くすことを主眼に取り組んでいます。

今後は、先述したように国内外の社会経済情勢は全く予断を許しませんが、高齢化社会の受け皿となるシルバー事業を今後ますます発展させていくためには、公益社団法人として市民の目線に立ち、多様化する社会的要請や企業要請などの社会経済環境の変化に的確に対応していくことが重要となります。

今後とも、安全就業を第一とし、派遣事業の積極的な取り組みなど国の施策の動向を注視し、県連合会及び近隣のシルバー人材センターとの情報を密にしながらか就業機会の拡大を目指し、お客様に「安心と信頼」される魅力あふれるシルバー人材センターを構築していく必要があります。

以下、令和2年度において実施した事業の概要を報告します。

2 事業実績（10年の軌跡）

（数値は、請負・委任と一般労働者派遣事業を合計した数値）

| 年度 | 会員数 （人） | 粗入 会率 （%） | 就業延 人員 （人） | 就業率 （%） | 受託 件数 （件） | 契 約 金 額（千円） | | | |
|-------|------------|-----------------|------------------|------------|-----------------|-------------|----------|----------|----------|
| | | | | | | 計 | 公共 関係 | 企業 関係 | 一般 家庭 |
| 23 | 444 | 2.6 | 31,801 | 94.4 | 4,545 | 149,279 | 32,231 | 63,465 | 53,583 |
| 24 | 394 | 2.2 | 23,503 | 90.9 | 4,272 | 121,131 | 23,630 | 45,291 | 52,210 |
| 25 | 351 | 2.0 | 23,160 | 89.4 | 4,517 | 120,944 | 23,749 | 43,271 | 53,924 |
| 26 | 344 | 1.9 | 24,057 | 92.4 | 4,193 | 127,571 | 26,242 | 50,540 | 50,789 |
| 27 | 370 | 2.1 | 23,561 | 90.5 | 4,231 | 130,541 | 26,889 | 53,354 | 50,298 |
| 28 | 373 | 2.1 | 24,913 | 89.2 | 4,259 | 139,737 | 30,476 | 57,273 | 51,988 |
| 29 | 391 | 2.2 | 26,656 | 91.6 | 4,420 | 147,194 | 29,412 | 66,243 | 51,538 |
| 30 | 414 | 2.4 | 29,580 | 90.6 | 4,627 | 170,190 | 42,677 | 76,940 | 50,573 |
| 元 | 428 | 2.5 | 33,458 | 87.1 | 4,620 | 198,225 | 47,240 | 98,806 | 52,209 |
| 2 | 436 | 2.5 | 32,523 | 83.7 | 4,544 | 194,807 | 58,694 | 85,910 | 50,203 |
| 前年度比較 | 101.8% | ±0 | 97.2% | -3.4 | 98.4% | 98.2% | 124.2% | 86.9% | 96.2% |

3 実施報告

（1）安全・適正就業について

安全就業推進実施計画に基づき、安全な就業は全てに優先し、労働関係諸法規の法令を遵守し、安全・適正な就業に努めましたが、草刈り作業中の物損事故が1件、草刈作業中と通勤途上の傷害事故が各1件、伐採作業中の物損事故が2件また派遣帰宅途上の傷害事故が1件、発生してしまいました。

（30年度3件、元年度3件、2年度6件）

元年度からシルバー派遣事業における安全衛生管理について基本的な事項を定め、シルバー派遣会員の安全と健康を保持するとともに、災害及び事故を未然に防止することを目的とする衛生委員会を設置して、1回／月の衛生委員会の開催と派遣職場の安全衛生巡視を行っています。

また、現在コロナ禍にあるため産業医の先生のご指導の下コロナウイルス感染症の情報を、会員の皆さんに情報提供しています。

(取組)

- ① 安全指導推進員による安全パトロールの強化（51回）
- ② 班会で安全就業講話及び就業に関する危険作業や偽装請負の自主点検について意見交換を実施
- ③ 公平な就業機会の推進（ローテーションの推進）
- ④ 事務局だより（2回発行）による安全就業の奨励
- ⑤ 安全・業務委員会による現場パトロールの実施（3回）
- ⑥ 安全衛生委員会の開催、職場の安全衛生巡視、産業医による健康対策

(2) 会員の増強について

会員の拡大は、当センターの最重要施策として取り組み、多様な発注ニーズに対応するため、下記の運動を積極的に取り組み会員の確保に努めています。

新規会員は51名、また病気や家庭事情での退会者が43名あり、今年度末の会員数は前年の428名に対し436名と8名の増となった。

(取組)

- ① 入会説明会を月2回開催（説明会参加 86名）
- ② 一会員一人勧誘のロコミ運動
- ③ 後期高齢者等及び加入時期に配慮した会費制の導入
- ④ 市内各交流センターへ事務局だよりの配布

(3) 就業機会の拡大について

就業拡大は、会員拡大と併せて当センターの最重要施策として取り組んでいます。

会員及び役職員は「みんなで開拓、みんなで就業」を基本とし、次年度以降もあらゆる機会をとらえて就業開拓に積極的に取り組みます。

(取組)

- ① 就業開拓推進員（兼務地域連絡員）を6地域に7名配置
- ② 役職員等による年末年始における企業訪問今年度は中止
- ③ 派遣事業への積極的な取り組み（専属職員を配置）

（受注件数 28 件 就業延べ人数 7,200 人日）

④ シニア就業相談会の開催

(7/10 木次、9/11 大東、11/13 加茂、1/15 三刀屋)

⑤ 指定管理者制度（創生館、掛合体育館及び野球場）の継続受託

⑥ 行政機関等に対し令和3年度の予算要望、委託事業の確保の要望活動

(令和3年1月13日には吉山雲南市副市長、他2名に、また、同日 佐藤・矢壁正副議会議員長への予算要望と意見交換を行った。)

(4) 普及啓発の推進について

広く雲南市民に対し、シルバー事業の理念、意義、事業活動状況を地元テレビや新聞、一般研修、ボランティア活動を通し、会員拡大や就業拡大の普及啓発に努めた。

また今年度は児童クラブの会員も参加したボランティア活動となった。

(取組)

① 市内11か所で185名の会員が参加しボランティア作業を実施

② 毎月ケーブルテレビ等地域の媒体を活用した普及啓発を実施

③ ホームページ及び自治体の広報誌、新聞を活用した普及啓発を実施

④ 一般市民・会員を対象とした講習会を開催

・剪定作業安全講習会(令和2年10月26日 参加者18名 於：大東中央子ども広場)

・ドライビング高齢者安全講習会

(令和2年11月19日開催 参加者22名 於：きすきドライビングスクール)

・第1回 剪定・伐採安全作業講習会

(令和3年1月22日 参加者12名 於：大東交流センター 講師 大原森林組合参事)

・第2回 剪定・伐採安全作業講習会

(令和3年2月10日 参加者23名 於：斐伊交流センター 講師 大原森林組合参事)

・第3回 剪定・伐採安全作業講習会

(令和3年3月25日 参加者34名 於：斐伊交流センター 講師 大原森林組合参事)

・チェーンソー取り扱い作業安全講習会

(令和3年3月8日開催 参加者16名 於：斐伊交流センター・木材ストックヤード)

⑤ 「利用者アンケート」調査を実施(90%以上の方が総合的に満足と回答)

(5) 財政運営の健全化について

平成 22、23 年の国における事業仕分け及び偽装請負等の関係法令の規制の強化に伴い、平成 23 年度には財政健全化指針を策定し財政基盤の強化を図っています。

令和 2 年度も引き続き指針を踏まえ、効率的な財政運営に努め、積極的に就業拡大を図る一方、市当局に対し財政支援及び委託事業の拡大を要請するなど財政基盤の安定化に努めました。

(取組)

① 派遣事業（新規 2 事業所）の積極的な取り組み

(参考：新規また再契約事業所)

さくら苑・倉田産業

② 雲南市長及び市議会議長へ補助金の確保、及び委託事業の拡大に対する支援の要望と意見交換の実施

③ 効率的な財政運営

(6) 組織の充実について

センターは情報発信基地であり、情報の共有化を図るため、各種会議を開催し組織体制の強化・課題解決のために開催を促したが、コロナ禍にあるため思うように開催できなかった。

(取組)

① 理事会（6 回）及び専門委員会（2 回）の開催

② 安全衛生委員会開催（1 回／月、職場の安全巡視）

③ 各地区班会（8 か所）の開催

④ 事務局長会議及び安全就業・会計事務研修会等リモートでの参加

⑤ 当センタースタッフ拡大連絡会議（3 回）の開催